



志

志し低き者は他人の短所を笑い
志し高き者は他人の長所に学ぶ

3 学年通信 第 16 号

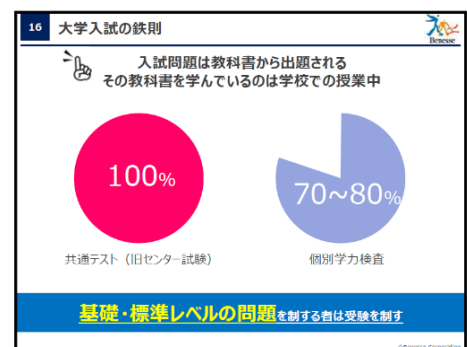
山梨県立甲府南高等学校
第 3 学年（文責：仲條）
令和 3 年 5 月 26 日発行

自分に才能があるか…

アニメーション作家であり、映画監督の宮崎駿さんがテレビ番組で若者たちの質問に答えるという場面がありました。宮崎さんには、かねてから色々な質問があるそうですが、アニメーションの作家になりたいと望んでいる真剣な若者たちは、要するに「自分にはその才能があるのか見分けてほしい」と願っているのです。若者が未知の世界に手探りで一步踏み出そうとするとき、才能があるかどうか迷い、誰かに見極めて欲しいという気持ちはよくわかります。これはスポーツや芸術など、素質や才能が重視される分野を志す場合だけでなく、自分の進路や職業を真剣に考えるときも同じです。大学入試に向けて受験勉強をしている3年生にとっても切実な問題だと思います。この質問に対する宮崎さんの説明は「才能というものは、みな潜在的に持っていると思う。大事なことは、内に秘められた自分の才能を発揮しようとするエネルギーがあるかないかだ。隠れた才能を発揮しよう、と、恥ずかしげもなく行動し続けることができるかどうかだ」と話しました。「恥ずかしげもなく行動する」という言葉を正しく理解するために、宮崎さんはさらに「すぐに挫折して自分を駄目だと思い、うじうじ・もじもじしては、内に秘めた才能が花開く時はない」と答えました。「恥ずかしげもなく行動する」というのは、何度失敗しても、そこから立ち上がることだ。躓いても、自分は駄目だと決めつけたり、思い込んだりしないことだ。駄目だと諦めて座り込んでしまった瞬間に、自分で自分の才能の芽を摘み取ることになる。実は、宮崎さんでさえ、彼自身がアニメを作る中でも自分に才能があるのかと、いつも不安を抱きながらやってきたと告白していました。悩みや不安な気持ちを相談する、わからないところを質問する、ちょっとした隙間時間で単語帳を見る、教科書を復習する…3年生の皆さん、「恥ずかしげもなく行動する」ことで自分の隠れた才能を発揮させましょう。

進路ガイダンス

4月13日(火)進路オリエンテーション、16日(金)ベネッセ進路講演会、23日(金)進路ガイダンスが実施されました。第1志望合格に向けてのロードマップは、基礎力養成→基礎力完成→応用力・実践力養成→直前対策です。1学期は教科書の基本事項のインプット、標準問題演習のアウトプット、赤本から傾向と対策を確認して日頃の学習から心掛ける。2学期以降は問題演習のレベルを上げながら得点力を磨くために、共通テスト対策と記述対策、時間配分や解答方針・戦略を意識した過去問演習を行います。10月9日(土)進研記述、16日(土)全統記述が最後の記述模試となり、1月の共通テスト自己採点とのドッキング判定で出願先を検討します。2学期からの入試に近い学習へ移行するためには、1学期の基礎力完成が必要不可欠であり、基本事項がしっかりしている人は成績の向上が期待できます。模試の判定で一喜一憂するのではなく、各教科・単元の○△×の分野を確認→得点力強化・弱点補強などの対策が重要です。



第73回山梨県高校総合体育大会

5月12日(水)～14日(金)の日程で行われた高校総体について、3年生にとっては関東予選も兼ねているため、一つの目標となる大会でした。誰もが“勝ちたい”“負けたくない”と考えますが、優勝とはすべての勝負で勝つことであり、1回でも負けると2位以下となりますので、1位以外の人＝敗者は必ず負けを経験します。結果にこだわることは、より高いレベルを目指す上でとても大事なことで、できれば負け試合は経験したくないですが、勝ち試合よりも負け試合の方がより多くのことを学ぶ貴重なチャンスであることも忘れてはいけません。さらに、結果が出ない時期が続いたとしても、その努力の日々が無意味ということでもありません。直向きに努力したことは形を変えて、見えないものとなって自分の体の隅々に様々な能力となって宿ります。そして、いつの日かその能力が自分の力となって、活躍する時が必ずやってきます。“結果にこだわる”とは“勝ちだけでなく、負けからも学ぶ”、すなわち試合の後の活動に何を生かすかが大事だと思います。部活動を引退してから、成績が伸びる人と伸びない人がいますが、“負けからも学ぶ姿勢”がある・なしの違いだと思います。同じミスを繰り返すような“負けから学んでいない”人はその姿勢を改めましょう。そして、“勝ちたい”“負けたくない”という純粋な感情は、人が持つ本能的な部分であり、とても素晴らしいものです。最終的には、一番手強い相手である自分に勝つことを目指して精進して欲しいと思います。(自分一人で毎朝起きていますか?)



緑陽祭準備期間

定期試験後、5月31日(月)～6月16日(水)

の17日間は緑陽祭準備期間となります。今年度もコロナ対応のため内容が例年とは異なりますが、昨年はなかった段ボール造形やクラス参加企画、南高ソングなどが実施予定となります。同じブロックの1・2年生のフォローもしながら、3年生全員で緑陽祭全体を成功へと導いて欲しいと思います。

学年のブログ



今後の主な予定

26日(水)生徒集会(納め式・壮行会)、植花作業	10日(木)歯科検診
28日(金)～29日(土)進研共テ模試	16日(水)緑陽祭準備(PM)
29日(土)駿台模試	17日(木)緑陽祭(体育)
30日(日)英語検定一次	18日(金)緑陽祭・大掃除
31日(月)～6月16日(水)緑陽祭準備期間	24日(木)第2回定期試験時間割発表
6月3日(木)眼科検診	27日(日)英語検定二次
4日(金)大学出張講義	7月1日(木)～6日(火)第2回定期試験

★受験生として心得【「心がけ」が変われば、成績は変わる】

- ・「素直な気持ち」が理解力・集中力を生み、実力に結びつく。「素直な気持ち」は親への感謝、多くの人がいて自分が生かされていることに感謝することから始まる。「素直な気持ち」から、自分本来の人生の目標や正義感が生まれ、生きる気力の源になる。「ありがとう」の言葉を使ったり、家事手伝いをすることで「素直な気持ち」が育まれる。
- ・結果の前には必ず原因があり、「我」が強いと物事を素直に理解できない。武道やスポーツなどの修業の理想的なプロセスは「守・破・離」です。「守」とは、指導者の話を守り、できるだけ多くの話を聞き、指導者の行動を見習う。天才はすべてを習得できたと感じるまでは直向きに「守」を心がけるが、凡人は割と早い段階で基礎練習に飽きてしまって「守」をおろそかにする。